

令和8年産水稻の生育状況について（7月10日現在）

1 生育概況及び今後の管理

- 古川農業試験場の5月11日移植の「ひとめぼれ」では、7月上旬も平年（過去5年平年値）より低温の傾向が続いたことから、7月10日現在の葉数は平年より0.5枚少ない。草丈は平年比91%、茎数は104%、葉色は平年差+4.1ポイント、幼穂は1.3mmで平年より3日遅く7月10日に幼穂形成期※¹に達している。
- 出穂前後の期間は高温が続くと予想されていることに加え、稲が最も水を必要とする時期であるため、土壌を湿った状態に保つ「飽水管理※²」を行う。
- 葉色のピークが平年より遅いため、今後の推移により必要に応じて追肥を行い、葉色が濃い場合は追肥を控える。

※1 幼穂形成期（ようすいけいせいき）：茎内部で作られる「若い穂」が1～2mmの長さになった時期。出穂（しゅつすい：穂が出ること）の20～25日前頃。

※2 飽水管理（ほうすいかんり）：足跡に水が溜まる程度に土を湿潤状態に保つ水管理方法。

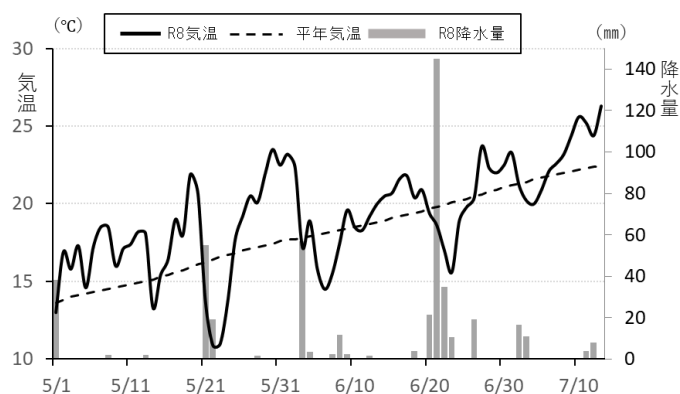
2 具体的データ

（1）生育調査結果（古川農業試験場 5月11日移植）

品種名	草 丈			茎 数			葉 色			葉 数			幼穂長		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (GM値)	前年差 (GM値)	平年差 (GM値)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本 年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)
ひとめぼれ	61.4	86	91	662.3	119	104	41.6	2.9	4.1	10.2	-0.7	-0.5	1.3	-6.1	-1.6
ササニシキ	61.4	88	92	798.7	136	112	40.2	5.9	3.9	10.4	-0.4	-0.4	1.0	-10.8	-3.0
つや姫	59.1	80	88	568.9	100	93	41.9	2.1	2.4	10.0	-0.9	-0.6	0.3	0.0	0.0
だて正夢	69.8	91	96	528.2	107	100	43.3	6.0	4.6	10.4	-0.8	-0.4	0.7	-2.0	-0.8

※ 平年値は過去5年平年値。

（2）平均気温の推移及び旬別の気象データ（仙台アメダス）



※次回は出穂状況の調査結果を
7月28日頃に発表予定です。

①アメダス平年値(1991年～2020年の平均)との比較

時 期		平均気温(℃)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
		平年値	平年差	平年値	平年比	平年値	平年比
5月		17.4	1.8	118.5	108%	255.4	133%
6月		19.6	0.4	314.5	219%	171.3	119%
	上旬	18.3	0.2	77.0	230%	34.1	57%
	中旬	20.3	1.2	28.0	56%	84.1	192%
	下旬	20.1	-0.2	209.5	347%	53.1	134%
7月	上旬	22.4	0.6	28.0	45%	51.0	134%

②アメダス過去5年平年値(2021年～2025年の平均)との比較

時 期		平均気温(℃)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
		5年平年値	5年平年差	5年平年値	5年平年比	5年平年値	5年平年比
5月		17.4	0.6	118.5	91%	255.4	122%
6月		19.6	-1.7	314.5	278%	171.3	95%
	上旬	18.3	-0.6	77.0	132%	34.1	55%
	中旬	20.3	-1.5	28.0	96%	84.1	125%
	下旬	20.1	-3.3	209.5	815%	53.1	104%
7月		22.4	-2.6	28.0	61%	51.0	120%

- 後日、農業改良普及センターが調査を実施する生育調査ほ(24か所)のデータを加えて、みやぎ米推進課ホームページ上に公開します。

(URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/komezukuri.html>)